

---

# SA協議会

## 2017年度 東京スキルアップミーティング

(2017年8月30日開催)

### 報告

SA協議会

2019-9-24

WG; 大賀、藤井、吉川、青野

塩見、渡辺、外山

---

## スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

### 1. 概略計画(WGメンバーにて計画運営を実施)

東京会場

### 2. SUM参加者

### 3. 当日の内容報告

東京会場

### 4. 参加者アンケート結果

### 5. その他(懇親会)

### \* 講演資料は別PDFファイルを参照

(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

# 1. SUM概略計画(東京会場)

---

## 開催概要【東京会場】

- 開催日時：平成29年8月30日(水) 13時00分～17時00分
- 開催内容：講演とディスカッション
- 開催場所：明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室
- 定員：50名様
- 参加費：無料
- 懇親会費：4,000円(予定) ※懇親会へのご参加は任意です。
- 申込締切日：平成29年8月4日←7月8日案内、実質7月13日締め切り

## 【プログラム】

受付:12:20 開始

開会:13:00

終了:17:10 頃予定

懇親会:17:45～19:45

## 【開催内容】

- ・SA協議会会長からの挨拶と講演(40分) 明治大学名誉教授 向殿政男氏  
タイトル「安全の変遷」
- ・第一部講演  
個人の部(90分) 功労賞  
桑川壮一氏  
タイトル「研削加工作業の安全について」  
～”研削作業の安全上の特徴”や”研削盤等構造規格”の要点について～
- ・第二部ディスカッション  
向殿安全賞受賞者の講演への質疑応答及び意見交換
- ・情報提供

## 2. 参加者結果

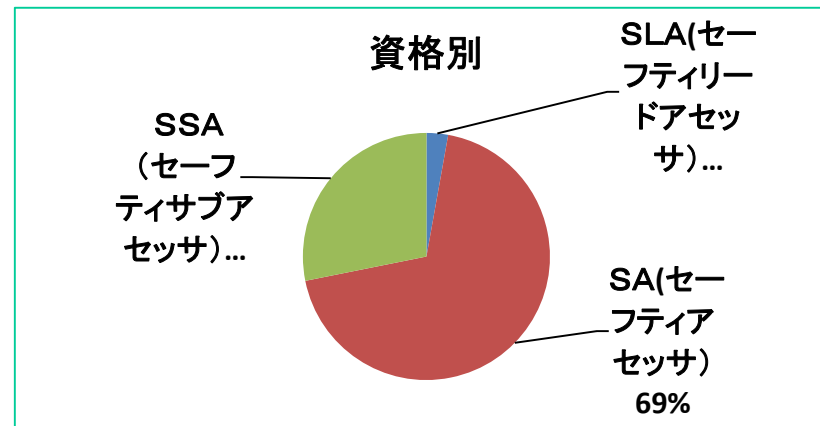
### 参加希望者

東京 86名(WG含め)

### 当日参加者

東京 70名+WG 6名

(懇親会参加者 20名)



参加者のSA資格別内訳別



会場満席の  
参加者

### 3. 内容報告 (1)

---

#### 東京会場

【プログラム】 13:00～17:15 司会;大賀氏(関東WGリーダー)

1. SA 協議会会長からの挨拶と講演 (40 分) 明治大学名誉教授 向殿 政男 氏

タイトル「安全の変遷」 講演資料参照

2. 第一部 向殿賞受賞者講演

個人の部 (90 分) 功労賞

桑川 壮一 氏

タイトル「研削加工作業の安全について」

～”研削作業の安全上の特徴” や ”研削盤等構造規格”の要点について～

3. 第二部ディスカッション

基調講演及び向殿安全賞受賞者の講演への質疑応答及び意見交換

4. その他 情報提供

【懇親会】

場所;「咲くら」御茶ノ水店時間;17:45～19:45

## 3. 内容報告 (2)

### 1. 挨拶及び基調講演 SA 協議会会長 明治大学名誉教授 向殿 政男先生

- 本ミーティングは、有志メンバーが、「SA有資格者の機械安全スキルの維持向上のために共通の課題等を検討して企画しています。是非、本交流会を通し、交流を図って互いの持っている知識経験を交換し、今後の業務、活動に活かしていただきたい」との挨拶があった。

- ご講演「安全の変遷」の講演で以下のポイントのプレゼンがあった。

- ・安全技術の歴史
- ・自然や人体に学ぶ安全？
- ・産業革命と安全
- ・機械安全の変遷
- ・Safety 2.0 の提案
- ・まとめ
  - ✓安全は全員で作る時代
  - ✓日本の安全の良さを再確認する時代
  - ✓多層防護(チーズモデル)と共に
  - ✓多重安全へ
  - ✓Safety 2.0と安全学は、
  - ✓日本から世界へ
  - ✓安全設計における歴史的な流れ

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



### 3. 内容報告 (3)

#### 2. 向殿安全賞受賞者講演

個人の部 (90 分) 功労賞

桑川 壮一 氏

タイトル「研削加工作業の安全について」

～”研削作業の安全上の特徴” や ”研削盤等構造規格”の要点について～

\* 桑川氏より講演があった。

- ・研削作業の安全上の特徴
- ・研削盤等安全構造規格 概要
- ・災害事例 等々

(講演資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



### 3. 内容報告 (4)

#### (3) 第2部 ディスカッション(GD)

基調講演、向殿安全賞受賞者の講演に対しての質問とディスカッションしたいポイントを会場より提起してもらい大賀氏をコーディネーターとしてディスカッションを実施した。

#### ◆ 討議事項

- ・自己紹介等を通じた、参加者間交流
- ・講演からの新たな気づき
- ・セーフティーアセッサとしての今後のあり方

#### (4) 情報の提供

日本認証から下記の情報を提供した

- ① SA制度の基準等の改定についての説明
- ② 最新動向講習会の紹介
  - (1) 2016年度の機械安全に関する国内動向
  - (2) 2016年度の機械安全に関する規格動向
- ③ 講師養成講習会  
2017年度東京、大阪にて開催
- ④ IGSAPの状況説明
- ⑤ 第3回向殿安全賞

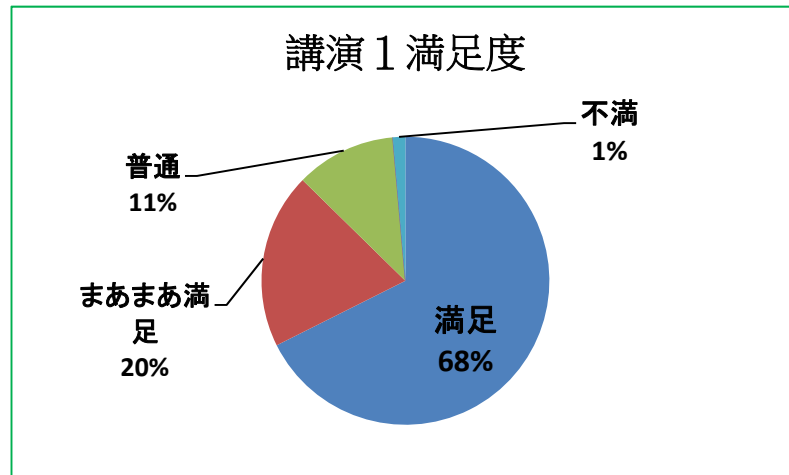
(資料は、SA協議会会員ページに掲示予定)



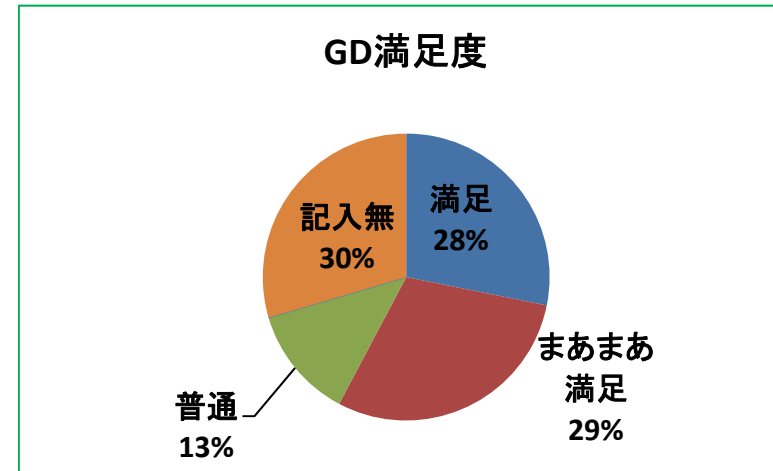


## 4. アンケート結果(47名から回収)

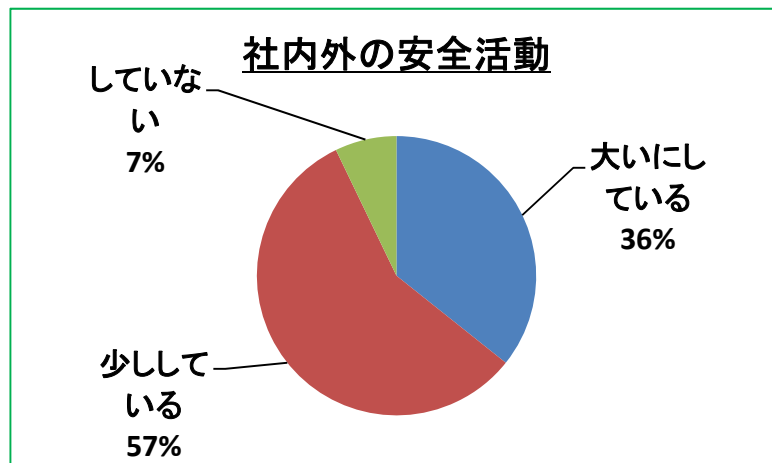
① 本日の講演についての感想は



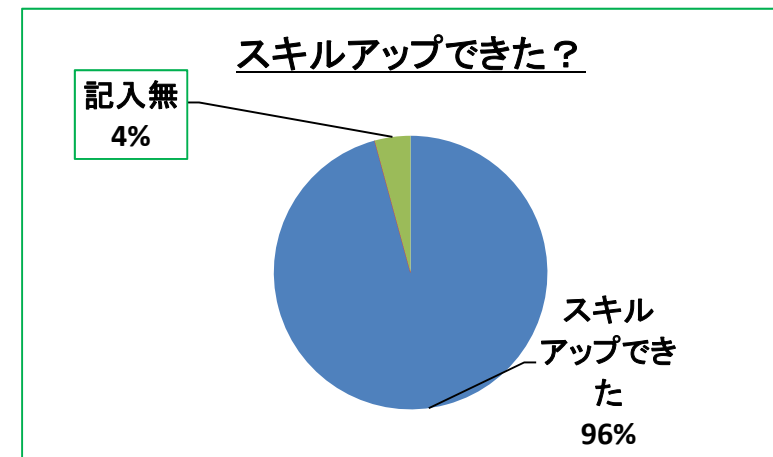
② 本日のグループ/討議についての感想は



③ 社内外での安全活動



④ 参加してスキルアップできましたか?



## 5. 纏め

---

今回も大変に有意義なミーティングとなった。

(前回同様にミーティング、懇親会ともに多くの方が参加した)

- ・今回のスキルアップミーティングは、向殿会長のSafetyの動向について、過去から現在、未来の方向性について興味ある講演があった。また、昨年度に引き続き向殿安全賞の受賞者からの講演を中心に企画したが、具体的な経験に基づく公園となり好評であった。また、昨年同様に基調講演、受賞者講演内容に対して受講者からの質問を受けての全体ディスカッションを実施した。
  - 講演は大変に好評であった。ディスカッションも事前に質問を受けるとともにプロジェクターに写しての議論のため活発な発言があった。ただ、時間の都合によりディスカッションの時間が少なく、その点の直接の指摘があった。また、満足度に関するアンケートに記入無しが目立ったことはその点での表れと思われる。
- ・今回も紫紺館のキャパギリギリまで参加していただいた。申込開始から1週間強で申込を締め切らざるを得なかった。参加をお断りした方も多数おられ、次回からの開催について検討課題となった。

## 5. その他

### 向殿先生を囲んでの交流会

向殿先生を囲んでの楽しい懇親会を実施しました。参加者20名。

他社の方と安全の土俵で交流することにより、このような場では、本音レベルでお話ができる大変に有意義でした。1回/年だけでなく交流したい。毎回、次回もぜひ参加したいとの多くの感想が寄せられた。



---

## 参考 ; フリーディスカッションでの質疑

- 質問 : 構造規格作成時のポイントについて  
A;データを取得することが重要である。また、ステークホルダー間での議論が必要である。
- 意見 : 「安全」と「安心」について  
日本では「安全」と「安心」が混同されており、「安全」より「安心」が優先される傾向がある。「安心」は情緒的な表現であり、実際は「安心」 = 「安全」ではない。このことは、我々SAが主導して改めていくべきである。
- 等

## 参考 ; メモに記された「SAとして今後の活動」

- 最新動向を積極的に調査し、社内に展開したい。(セミナーを多く開催して欲しい)
- SA/SSAの育成し、日常業務を運営、そのマネジメントの力量の向上が必要。それに挑戦したい。
- 職場全体で安全を取り組む必要性を訴えて実勢したい。
- 今回で学んだことをどう活用していくかを検討します。
- 社内のR Aの推進を安全セミナーに参加して更に進めたい。
- 等